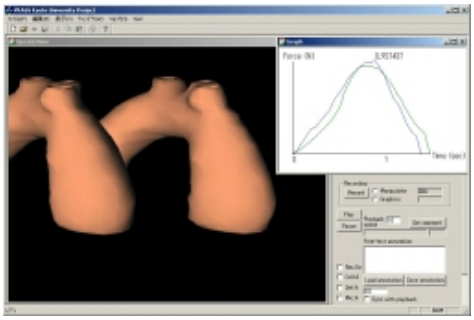
タイトル

仮想人体を使って熟練医の手術手技を学ぼう

Surgical Training By Referring Recorded Skillful Operation On Virtual Reality Object

概要

昨今の医療分野では、医療行為のわかりやすい評価がトピックとなっています。特に手術では、適切な処置がなされているかどうか評価の方法が曖昧です。さらに、手術では医療機器の高度化により、如何に早く専門医を育てるかが課題となっています。本研究では、Virtual Reality で再現された仮想人体を用いて、熟練医の操作を記録・再生し、熟練医と研修医の間の学習、教示を促進するコミュニケーションツールを提供したいと考えています。 図：大動脈触診時の運指の記録と再生



URL	http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~mi/jp/index.php?research_med_vr

産業界への展開例・適用分野

本展示では、VRシミュレータの背後にある力学計算モデルの紹介と、記録された操作データから如何に熟練医の操作のキモを抽出するかという方法論を提示する。医療分野への適用を前提とした、産業用VRシミュレータ構築への展開が期待される。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	粂 直人	社会情報学	医療情報学講座	助教